

## 学力向上に係る効果的事例

### 「自己評価カード」と「計算反復練習」による個に応じた指導の充実

【杉戸町教育委員会】

1 学校、学年、教科 中学校、全学年、数学

2 ねらい

数学における確かな学力の向上、基礎学力の向上への取組の1つとして、計算力の定着と向上を進める。

3 取組内容

毎時間始業5分間を使って、宿題として前時に出された学習内容の復習をねらうプリント（写真①）の答え合わせと、“計算の達人になろう”と名づけた計算プリント（写真②）を行う。このプリントは数種類用意されており、生徒は前時までの既習事項を振り返り、問題の難易度を選び取り組む。また、生徒は毎時間授業終了時に自己評価カード（写真③）を記入し、授業担当が毎時間個々の生徒の理解度、定着度などを評価し、次時の指導に生かす取組を行っている。また、毎週木曜日に全校で“ふれあいサーズデー”と呼ばれる生徒との触れ合う時間と場所を優先的に確保する取組を行っている。朝の打ち合わせをなくし、教室で生徒との朝の出会いの場を確保し、信頼関係の基盤作りをしたり、放課後には個別に補習を行うことで、生徒の学習面での支援体制を整えたりしている。

写真① 毎時間の宿題プリント

計算練習ひたすらプリント  
【1】 次の計算をしなさい。

(1) $(20x + 8y) \div 4$	(6) $98a - 4b \div 4$
(2) $(-4x + 12y) \div 6$	(7) $(12x^2 - 15x + 3) \div (-\frac{3}{4})$
(3) $(6x - 18y + 12) \div 6$	(8) $(16x - 8y) \div (-\frac{4}{3})$
(4) $(5x^2 - 5x + 30) \div (-5)$	(9) $(12x + 15y - 6) \div 3$
(5) $(3a - 2b) \div \frac{1}{3}$	(10) $(02x^2 - 15x) \div (-5)$

写真② 始業直後に行うプリント

計算の達人になろう 方程式 No.1 /

(1) $6x + 2 = 20$	(2) $6 - 3x = -2$	(1) $x - 5 = 9$	(2) $4x - 2 = 6$
(3) $8x = 3x - 15$	(4) $4x = -6x + 8$	(3) $2x = 6x - 20$	(4) $-18x = 24 - 6x$
(5) $4x - 7 = 3x - 13$		(5) $5x - 6 = 2x + 3$	

1年 組 番名前: \_\_\_\_\_

4 成果と課題

今後の課題として、自己評価カードをより一層活用して生徒一人一人の学力を把握し、個に応じた指導と評価を進めていく。さらに、式や表やグラフに表したり、自分の考えを発表したりする数学科としての表現力についても迫っていく必要がある。

写真③ 自己評価カード

数学科 自己評価カード 3年7組 番・氏名 \_\_\_\_\_

【評価項目】 ※判定はそれぞれの項目に○×で記入する。

①意欲的に授業に取り組みましたか。  
②課題を解決するために考え方や見方を工夫しましたか。  
③課題を解決することができましたか。  
④今日の学習内容を理解できましたか。

月/日	学習内容	観点①	観点②	観点③	観点④	感想や質問など
4/9	平方根	○	○	○	○	よくかたのていねい。 ワークがよかった。 がんばる
4/22	平方根	○	○	○	○	問題が早くてよかった。 ワークがよかった。 うまい。 もっと計算を早くしたい。プリント
4/	平方根	○	○	○	○	ワークがよかった。 テスト勉強に見通せる ワークがよかった。